



第155回糖尿病教育学習研究会（トップセミナー）  
第194回IIDES糖尿病研究会  
第129回CDE兵庫県連合会研究会  
—合同研究会のご案内—



日 時 : 2021年10月23日(土) 14:00~17:20

場 所 : 神戸商工貿易センター 26階 第1会議室  
神戸市中央区浜辺通 5-1-14 TEL:078-251-5489

プログラム :

14:00~14:10 大日本住友製薬株式会社 —情報提供—

14:10~16:10 (座長:中村 武寛先生 神戸市立医療センター西市民病院 糖尿病・内分泌内科 部長)

基調講演 1. 『患者さんの心に響く・届く栄養指導 ~ You must から I will へ ~』

柴本内科循環器科 管理栄養士 玉木 悦子 先生

基調講演 2. 『糖尿病における運動療法の多面的効果』

兵庫医療大学 リハビリテーション学部 作業療法学科 教授 勝野 朋幸 先生

16:10~17:20 (座長:芳野 原 医療法人社団 慈恵会 新須磨病院 常任学術顧問 糖尿病センター長、  
東邦大学名誉教授、NPO 法人 国際糖尿病教育学習研究所 理事長)

特別講演 『GLP-1 受容体作動薬を活かしたコロナ禍での糖尿病治療戦略』

神戸市立医療センター中央市民病院

糖尿病・内分泌内科 医長 兼 栄養管理部 部長 岩倉 敏夫 先生

注) ① 会場とオンライン同時配信により、ハイブリッド講演会になります。

② 会場参加定員:先着43名 (キャンセルができた際には、外れた方順に参加可能のお知らせをいたします。)

③ 会場参加者は必ずマスク着用をお願いします。また、発熱がある方は入場をお断りしますので、体温を測定してからお越しください。

④ 新型コロナウイルス感染拡大の影響でオンラインのみの開催、または中止となる場合がございます。その場合は申込されたメールアドレス、または連絡先にご連絡いたします。

(1) 参加費: 2,000円

(2) 申込方法: 事務局へご氏名、ご所属、職種、ご連絡先、オンライン参加か会場参加か(オンラインの場合、必要な単位申請先)を明記の上、E-mail(パソコンからの発信可能アドレスをお知らせください)、またはFAXにてお願いいたします。

注) CDEJ更新のための認定単位が必要な方はWeb講習は対象外です。また、日病薬学認定制度の認定単位が必要な方は、本オンラインでは単位対応できません。会場参加でお願いいたします。

(3) 連絡事務局: 特定非営利活動法人 国際糖尿病教育学習研究所 (NPO-IIDES)

〒651-1112 神戸市北区鈴蘭台東町7-10-16

TEL:078-591-7515 FAX:078-591-7512

E-mail:yoshino@npo-ides.or.jp

※ 日医師教育講座認定 講演1:CC5・1単位、講演2:CC11・1単位、講演3:CC76・1単位

※ 日本糖尿病療養指導士 認定更新のための研修会(第2群)1単位 21-0286(オンライン参加不可)

※ 日本糖尿病療養指導士 認定更新のための栄養関係研修講座(第1群)1単位 CDEJ2021-021(オンライン参加不可)

※ 日病薬学認定制度 Ⅲ-2・1単位、V-2・0.5単位(オンライン参加不可)申請中

※ 糖尿病療養指導士兵庫県連合会 認定更新のための研修会 2単位

共催: 特定非営利活動法人 国際糖尿病教育学習研究所  
糖尿病療養指導士兵庫県連合会  
一般社団法人 兵庫県病院薬剤師会  
大日本住友製薬株式会社

## オンライン参加の方へ

1. オンライン参加をお申込みされた方へは、参加費振込先を申込メールアドレスにお送りいたします。  
(オンライン参加費振込締切日は10月22日まで。振込手数料は各自でご負担願います。入金された参加費については、返金対応いたしませんのでご了承ください。)
  2. 入金確認後、事前登録URLを申込メールアドレスにお送りいたします。
  3. 当日オンライントラブル連絡先：大日本住友製薬株式会社 窓口 岩田 (TEL:070-1510-4857)
- ※ご連絡頂く「個人情報」は本会運営の目的のみに使用させていただきます。

## 【認定単位の必要な方へ】(単位取得までの流れ)

■ 受講確認のため、受講中に3回キーワードを発表します。必ずメモしてください。

キーワードが全部合致しない場合は、受講したものと認めませんのでご注意ください。

### 1. 糖尿病療養指導士兵庫県連合会認定に関して

受講後、当日中に3回のキーワード、ご氏名、認定番号、ご送付先住所を事務局メールアドレスにお送りください。  
キーワードが合致した方のみ、参加証(単位申請用)をご送付いたします。

### 2. 日医生涯教育講座認定に関して

受講後、当日中に3回のキーワード、ご氏名、所属医師会、医籍番号、ご送付先住所を事務局メールアドレスにお送りください。キーワードが合致した方のみ、受講記録表をご送付いたします。

## 一抄録

### 基調講演1. 『患者さんの心に響く・届く栄養指導 ~You mustからI willへ~』

玉木 悦子 先生 柴本内科循環器科 管理栄養士

糖尿病治療は種々の経口血糖降下薬・インスリン注射が使用可能で治療の幅が広がっていることは確かです。近年DPP-4阻害薬・SGLT2阻害薬・GLP-1受容体作動薬など目覚ましい進展を遂げています。それでも食事療法が糖尿病患者さんにとって大切な治療方法です。患者自身が取り組める食事療法・コロナ禍においても画一的な指導ではなく、患者さんを中心に個別化した対応について、臨床現場の声を届けさせていただきます。

### 基調講演2. 『糖尿病における運動療法の多面的効果』

勝野 朋幸 先生 兵庫医療大学 リハビリテーション学部 作業療法学科 教授

糖尿病治療において、運動療法による血糖改善効果はよく知られています。本講演では、運動における血糖改善効果の簡単なメカニズムを一緒に復習していくとともに、糖尿病における運動療法の多面的な効果についてなど、お話しさせていただきます。知識の再確認とともに新しい情報の獲得をして頂ければ幸いです。

### 特別講演 『GLP-1受容体作動薬を活かしたコロナ禍での糖尿病治療戦略』

岩倉 敏夫 先生 神戸市立医療センター中央市民病院 糖尿病・内分泌内科 医長 兼 栄養管理部 部長

糖尿病があり、さらに血糖コントロールが不良や治療を受けていない場合には、新型コロナに感染し発症すると重症化しやすいことが報告されている(1)。新型コロナの拡大により、外出の自粛やリモートワークなどが推奨されているが、糖尿病患者の生活習慣への悪影響が心配されている。実際、運動不足、不眠、高カロリーの加工食品の摂取の増加などにより、血糖コントロールを悪化させる問題が生じている。長引く困難な状況下でも、良好な血糖コントロールを維持し、健康的な生活スタイルを続けられるように工夫をすることが求められる。このコロナ禍の状況を、「血糖値改善に積極的になる好機」と考えて、糖尿病治療強化に踏み込む時期と考えたい。今回、GLP-1作動薬と家庭での血糖モニタリングを活用した、コロナ禍での新しい糖尿病診療について模索する。

(1) Association of Blood Glucose Control and Outcomes in Patients with COVID-19 and Pre-existing Type 2 Diabetes. Zhu L et al Cell Metab. 2020 Jun 23;16:1068-1077.

## ◇会場案内図(神戸商工貿易センター)

- 三ノ宮駅(JR) 三宮駅(阪急・阪神・市営地下鉄山手線) 下車徒歩10分
- 三宮花時計前駅(市営地下鉄海岸線) 下車徒歩5分
- 三宮駅(ポートライナー) 貿易センター駅下車すぐ

